

平成 16 年度弥生研究会「放射線化学とその周辺から」プログラム

日時：2005 年 2 月 21 日（月）13:00～

場所：東京大学工学部 12 号館 1 階 123 室

13:00-13:10 開会挨拶 勝村庸介（東大院工）

13:10-14:30（セッション 1）

- 1) 機能性色素を含む薄膜の電子線反応とナノ発色パターン形成
（東理大院理工¹・群大工²・原研³・原研高崎⁴）○湯浅加奈子¹、榎本一之²、前川康成³、吉田勝⁴、加藤順¹、山下俊¹
- 2) 宇宙用材料への加速微粒子照射による発光
（東大院工¹・NTT 情報総研²・東大原総セ³）○加藤道博¹、田所将志²、工藤久明¹、岩田稔¹、室屋裕佐¹、勝村庸介¹、岩井岳夫³、尾亦孝男³
- 3) 生体高分子中の異常拡散について
（理研）○丑田公規、益田晶子、岡本隆之（理研）
- 4) 蛍光相関分光法により不均質溶液中での分子の拡散を解析する理論的な方法
（産総研¹・理研²）○関和彦¹、益田晶子²、丑田公規²、立矢正典¹

14:30-14:40 休憩

14:40-16:00（セッション 2）

- 5) 放射線標準の設定と開発に関する調査研究
（産総研）○加藤昌弘
- 6) 室温熔融塩中のイオンと電子のスペクトル変化
（原研¹・阪大産研²）○永石隆二¹、有阪真²、楊金峰²、吉田陽一²
- 7) ヒドロキシイミド類の放射線照射における溶媒効果
（都立技研）○中川清子
- 8) 放射線による環境ホルモンの分解
（原研高崎¹・群馬県衛生環境研究所²・群馬大工³）○木村敦^{1,3}、田口光正¹、大谷仁己²、嶋田好孝²、瀧上真知子¹、小嶋拓治¹、平塚浩士³、南波秀樹^{1,3}

16:00-16:10 休憩

16:10-17:30（セッション 3）

- 9) パルスラジオリシス法によるカルボキシメチルキチンと水和電子の反応速度定数評価
（東大院工¹・原研高崎²）○佐伯誠一¹、岩田稔¹、室屋裕佐¹、工藤久明¹、勝村庸介¹、長澤尚胤²、吉田文男²
- 10) 光子および電子との相互作用による 2 電子励起メタンの研究
（東工大）○福澤宏宣、小田切丈、中里智治、村田誠、宮城晴英、河内宣之
- 11) 水中での分子の光イオン化しきい値と収率
（産総研）○加藤隆二
- 12) 多糖類固体リアクター中の分子過程と光化学過程
（茨城大）○金子正夫

17:30-17:40 休憩

17:40-19:00 (セッション4)

- 13) スパー (ブロッブ) 過程の遅延ポジトロニウム形成の検証の試み
(茨大院¹・原研²・産総研³) ○小室葉¹、平出哲也²、鈴木良一³、大平俊行³
- 14) 光ファイバサーキット型 TOF-PET 装置の研究
(東大院工¹・高エネ研²) ○山脇正人¹、勝村庸介¹、鈴木健訓²
- 15) 多孔質薄膜の超高感度ナノ構造解析法としての低速陽電子消滅
(産総研) ○伊藤賢志、小林慶規、平田浩一、佐藤公法、鈴木良一、大平俊行
- 16) BaF₂ 改良型シンチレータの開発とその評価
(東大院工¹・東北大院工²・東大総合文化³) ○西納大介¹、澁谷憲悟¹、越水正典²、浅井圭介²、斉藤晴雄³、室屋裕佐¹、勝村庸介¹

19:00- 懇親会 (工学部 12 号館 1 階 121 室)